



【特別支援学校のセンター的機能】

～しろがね分校による地域支援～

しろがね分校では専門アドバイザーが中心となり、前橋市・玉村町・渋川市・吉岡町・榛東村の小学校・中学校・幼稚園・保育園を訪問したり、保護者に来校していただいたりして、発達の気になる子供達についての継続的な支援を行っています。

11月30日現在の相談依頼の件数(外部支援)

対象	幼稚園・保育園	小学校	中学校	その他	計
件数	148件	143件	64件	17件	372件

(その他は来校相談や電話相談)

専門アドバイザーの仕事を紹介します。



幼稚園や保育園の指導でも、小学校や中学校の指導でも、上手な支援というのは、共通するところがありますね。

どのクラスにも、気になる子どもはいますが、その子にぴったり合った指導というのが大切になります。

今月訪問した保育園で、とても感動した支援を目にしました。
遊びの後、片付けるのが苦手な子どもの支援です。

子供が砂場で遊んでいるときに、遊び終了の時間になりました。「お片付けしますよ」という先生の声が聞こえます。

そのとき、片付けしないでもっと遊びたい子に、どのような言葉を掛けたらよいのでしょうか？

一番多いのは、「〇〇ちゃん、片付けして」と声を掛けるだけで、子どもは結局は全く片付けをしないですり抜けてしまう場合です。

配慮のある先生は、片付けの合図がかかると「ハイ」と片付ける物を渡して、近くに入れやすい箱を指さして「入れて」と声を掛けて入れさせます。

私が見て感動した先生は「〇〇ちゃん、仲間を探してくれる？」と砂場で使っていたお皿を手渡したところ、子どもは同じ大きさのお皿をゲームのように探して拾い始めました。片付け自体がまるで、遊んでいるようです。その後、「落ちているお皿がないか、パトロールしてきてください」と声をかけられた子どもは、園庭中を警察官の気分になって、たくさん見つけてきました。

どうですか？

「片付けをする」という目標は同じです。でも、子どもに気持ちよく片付けさせるためにはどのように言葉をかけたら良いかを考えるのは大切なことです。

中学校でも同じです。姿勢の悪い中学生に「姿勢が悪い」と叱っても、子どもは一瞬だけ姿勢を直すだけで、すぐに崩してしまいます。でも、「この問題、難しいよね」とプリントの問題のヒントを出せば、子どもが問題を解く気になり、自然と姿勢は直っているものです。

とてもよい指導の場面を見させていただきましたので、先生方にも是非伝えたくくなりました。参考になれば、幸いです。

お子さんの指導で相談したいことがありましたら、お気軽にご連絡ください。障害の有無に関係なく気になる子がいる、あるいは、何となくクラス全体が落ち着かないなどの相談でも結構です。



少しでも悩んでいたなら、ご連絡ください。お伺いします。

作業療法士・理学療法士・言語聴覚士の同行訪問事業が今年も始まりました。体の動きがぎこちない・手先が不器用・行動が遅い等、気になることがありましたら、是非、ご連絡ください。

わたらせようごがっこう
渡良瀬養護学校しろがね分校
せんもん
専門アドバイザー
おぎしじゆんこ
尾岸純子
でんわ
電話 027-268-6111

